

今後の上映会について

入場人数を41人までとし、事前予約の上、鑑賞いただいています。ご理解とご協力をお願いします。詳しくは「ラ・ラ・ネット」をご覧ください。

<1月の上映会>

14日(木) ミッドナイト・バス 【2017年/156分】

直木賞候補の傑作ヒューマンドラマ、伊吹有喜の同名小説(文春文庫刊)を完全映画化!「この夜を超えたら、きっと希望が待っている。」 監督:竹下昌男 出演:原田泰造 山本未来 小西真奈美

21日(木) 一杯のかけそば 【1992年/99分/16ミリフィルム】

大晦日に一杯のかけそばを注文する貧しい家族と、彼らを温かく迎えるそば屋の夫婦の姿を描いた感動作品。 監督:西河克己 原作:栗良平 出演:渡瀬恒彦 市毛良枝 泉ピン子 鶴見辰吾

24日(日) 続・深夜食堂 【2016年/108分】

安倍夜郎の人気コミックを小林薫主演で描いたテレビドラマの映画版「深夜食堂」の続編。

監督:松岡錠司 出演:小林薫 河井青葉 佐藤浩市 池松壮亮

<2月の上映会>

18日(木)・25日(木)・28日(日) 旅立ちの島唄 ～十五の春～ 【2013年/114分】

沖縄本島からおよそ360キロ離れた絶海の孤島南大東島を舞台にし、少女の成長や家族の絆を描いたストーリー。 監督:吉田康弘 出演:三吉彩花 大竹しのぶ 小林薫

LLPC(Lifelong Learning Promotion Center) book (推進センター所長)

センター講座から ～ オンライン研修 ～

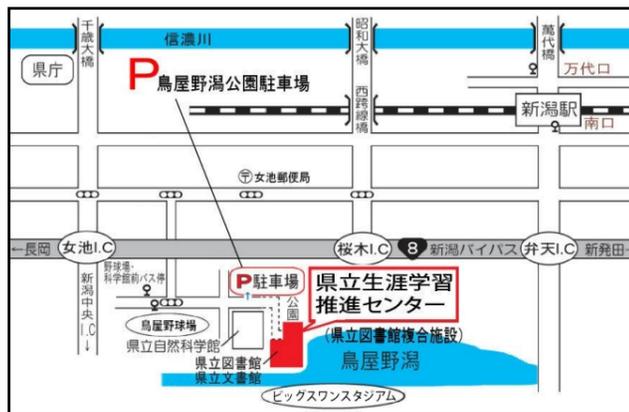
コロナ禍においてオンラインによる研修が盛んに行われるようになった。

当センターも同様に、講師や受講者が各々、会場に集合するのか在宅なのか等々により、様々な形態を試行錯誤してきた。下記はその一例である。

- 講師・受講者ともに会場集合。三密防止で複数の部屋にYouTube同時配信(一方向)
- 講師は在宅、受講者は会場集合。Zoom同時配信(双方向)した映像を、三密防止で複数の部屋にYouTube同時配信(一方向)

- 講師は在宅、受講者は会場集合。Zoom同時配信(双方向)
 - 講師・受講者ともに在宅。Zoom同時配信(双方向)など
- 感染防止の大前提はしばらく変わらないが、研修目的のどこに重点を置くのかを精査した上で、受講者同士がつながる学びをいかに仕組むか、更なるチャレンジを進めていく。

お困りのことがありましたら、ぜひセンターをご活用ください!



新潟県立生涯学習推進センター
新潟市中央区女池南3-1-2
TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
Mail:nlpc@mail.lalanet.gr.jp
ホームページ:https://www.lalanet.gr.jp/
Twitter:https://twitter.com/lala_nlpc/

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

https://www.lalanet.gr.jp/

ラ・ラ・ネット 検索

生涯学習相談・情報提供

TEL:025-284-6119 FAX:025-284-6019
Mail:lalasoudan@mail.lalanet.gr.jp

施設等の貸出

生涯学習に係る機関・団体等へ施設・視聴覚教材の貸出を行っています。
貸出施設:ホール 大研修室
※3密を避けるため、現在利用定員を制限しています。(ホールは41人まで 大研修室は24人まで)
(視聴覚教材・機材の貸出しは原則登録が必要です。)

生涯学習

Niigata

https://www.lalanet.gr.jp/

ラ・ラ・ネット

検索



No.147
令和3年1月14日発行
新潟県立
生涯学習推進センター



「オンラインでさせてもらえませんか?」～コミュニティリーダー研修会～



講師からのこの一言でオンラインでの「コミュニティリーダー研修会」の開催が動き出しました。コロナ禍で従来のスタイル(面前での講義とグループ演習)での開催が困難であると、講師の岸磨貴子先生(明治大学 准教授)宛に相談のメールを送った直後の回答でした。

当センターでオンラインだけの研修会を行うのは初めてです。県内各地から23名の申込みがありましたが、果たしてオンラインで出会うことはできるのだろうか・・・、そんな不安を感じながら、当日を迎えました。研修会の開始時刻が近付くと

続々とチェックインがあり、大きなトラブルもなく研修がスタートしました。

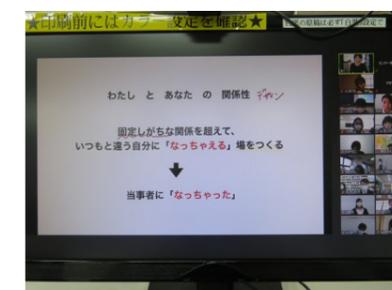
研修の初めには、「Zoom」に不慣れな方を想定し、操作に慣れるような活動(名前を変える、リレー形式で音声のオン・オフを切り替える、チャット機能で質問に答える等)を取り入れてくださり、受講者が安心して参加できるように配慮してくださいました。

研修には、岸先生の共同研究者であるグラフィックレコーダー黒木あゆみさんが、アシスタントとしてリモートで加わってくださいました。岸先生の講義内容を、黒木さんのイラストで理解を深めたり、「グラフィックファシリテーション(グラレコ)」の説明ではグラレコのポイントをイラストも使いながら説明したりしてくださいました。また、岸先生と黒木さんのやりとりが軽快でテンポが良く、和やかな雰囲気です研修会を進めることもできました。

岸先生の講義では、「場のデザイン」には「道具のデザイン」「関係性のデザイン」「活動のデザイン」の3つがあることや、人を当事者として巻き込む際にはいつの間にか当事者に「なっちゃった」場をつくること等を、具体的な事例を元に説明がありました。また、研修中には「Zoom」の「ブレイクアウト機能」を活用して、オンライン上でのグループ演習も行いました。

受講後の受講者アンケートには、「『場のデザイン』をオンラインでということイメージが湧かなかったのですが、岸先生の分かりやすい説明と黒木さんの的確なイラスト、さらに和やかな雰囲気ですオンラインでのワークショップが楽しく体感できました。」「コロナ禍で様々な活動がストップし、関係性もリアルでは作りづらい中、楽しさと学びがありました。今後、学校活動や社会活動に広がっていく手法だと思い、未来を感じました。」等の記述がありました(今回の研修会では、「受講後のアンケート」もオンライン上で行いました)。

今回の研修では、岸先生から研修内容はもちろんのこと、今後のオンライン活用の可能性について数多くご提案いただきました。当センターでは、今後も県民の皆様に多様な学びの場を提供していきたいと考えています。



生涯学習推進職員研修会「基礎研修会2020」

受講して下さった方の声です。
「2日間（4日間）ありがとうございました。研修を受けて、実行に移したいと心から思いました。本当にためになりましたし、楽しい講座でした。」

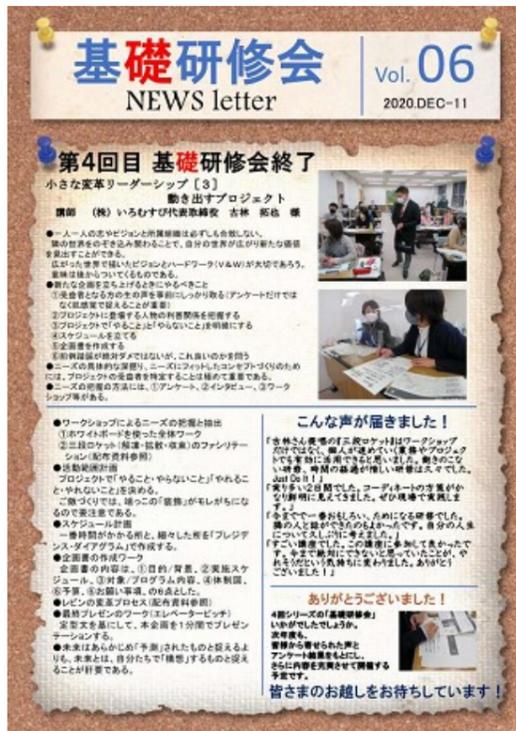
「地域コミュニティにおいて、自分はどうかあるべきか、何を行うべきなのか、その基礎を学ぶことができました。市民による活動への行政の立ち回りや対人技術などを今回の講座で得ることができました。本当にありがとうございました。」

「すごい講座でした。この講座に参加して良かったです。今まで絶対にできないと思っていたことが、やれそうだという気持ちに変わりました。ありがとうございました！」

次年度も、皆様から寄せられた声とアンケート結果をもとに、さらに内容を充実させて開催する予定です。皆様方のお越しをお待ちしております。



「基礎研修会」の研修内容を「News Letter」でまとめました。詳細は、ホームページ「ラ・ラ・ネット」の「活動日記」をご覧ください。1回目から4回目まで全て掲載しています。



情報モラル教育の充実に向けて

GIGAスクール構想における児童生徒へ一人一台の端末整備や5G技術などの情報インフラ整備に加え、コロナ禍で様々な事業がオンライン化を取り入れるなどICT環境が一気に加速した現在、情報モラル教育の充実が喫緊の課題とされています。そのような状況の中、今年度当センターでは、小中高等学校の教職員や社会教育施設の職員を対象に、情報モラル教育指導者養成を目的として研修会を3回実施しました。

講師:大久保真紀様(インターネット利用アドバイザー)講義の要旨(実施日8月21日、11月17日)

- ・子どものネット多用に対するリスクを、大人が把握して正しく怖がるのが大切。
- ・長い目で子どもを育てる視点で、子どもの将来につながる使い方をさせるのが大切。
- ・子どもたちは大人のネット利用の姿を見て育つので、大人が見本を見せるのが大切。

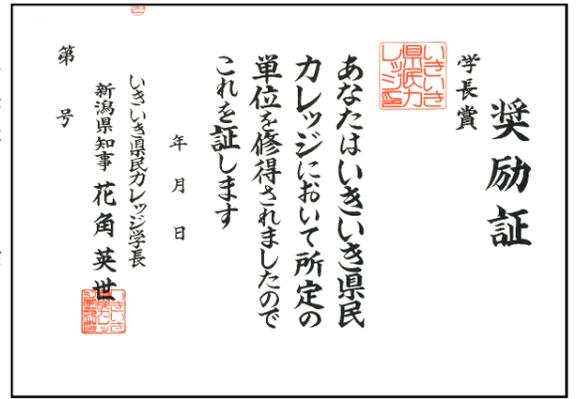
講師:塩田真吾様(静岡大学教育学部准教授)講義の要旨(実施日11月4日)

- ・問題を「自分のこと」として自覚させ、様々な状況で考えさせるのが大切。
- ・ルールの中の「曖昧さ」を考えさせ、ルールを守るための工夫を考えさせるのが大切。
- ・実態と発達段階を踏まえ、どのような力が身につけているのかを把握し、どのような力をどのような時間で身につけさせるのかを計画することが大切。

受講者からは、「インターネットトラブルの実情が分かった」「情報モラル教育の方向性をはっきりさせることができた」など、成果があったという声が聞けた一方で、「すぐ実践できるように自校化する必要がある」「指導するスライドがほしい」など要望も上がりました。各所属で情報モラル教育がさらに進められるよう、来年度の講座を計画しております。

「いきいき県民カレッジ」

「いきいき県民カレッジ」は、生涯学習社会の実現に向けて、「いつでも、どこでも、自分の希望するものを学びたい」という県民の要望に応えることを目的に、平成4年度に開学しました。これまでにのべ220万人の方から受講をいただいております。11月22日にユニゾンプラザで開催された「早寝早起き朝ごはん県民フォーラム2020」において、いきいき県民カレッジの表彰式が行われ、受講手帳・活用手帳で学長賞を受賞された皆様が表彰されました。今後も皆様の学習ニーズに幅広く応えられるように、「ラ・ラ・ネット」上での講座情報発信と合わせて、学習機会情報の提供の充実を図ってまいります。よろしくお祈り致します。



大募集! ラ・ラ・ネット「活動日記」機能利用

ラ・ラ・ネットには学習情報検索機能の他に、地域のイベントや活動報告などを発信する「活動日記」機能があります。各団体で開催した研修や講座の様子や、受講して得た内容を活用したことを「活動日記」機能を使って発信し、新潟県の生涯学習を一緒に推進してみませんか。

※活動日記を利用するためには、ラ・ラ・ネットマイページへの団体登録が必要です。(無料)マイページの登録は、ラ・ラ・ネットからできます。登録後IDとパスワードを発行します。

【活動日記利用の手順】

- ①をクリックしてIDとパスワードを入力してログイン。
- ②活動日記登録をクリック。その後新規登録をクリック。
- ③表示される項目を入力(※は必須入力)
- ④入力が終わったら登録をクリック。



④終了後承認を依頼するをクリック。推進センターで公開承認がされた情報がラ・ラ・ネット各ページに表示されます。更に詳しい機能はラ・ラ・ネットホームページより「マイページ・学習情報登録 操作手引書 (PDFファイル 5MB)」をご覧ください。

活動日記には情報をご覧になった方の「い・い・ね」という思いを共有できるように「い・い・ね」ボタンがあります。「いいね!」と思ったら気軽にボタンをクリックしてみてください。トップページには、皆さんの「い・い・ね」の思いがランキングとして表示されます。

